

ミュージアムパーク茨城県自然博物館 地域の関連機関等と連携した 海岸動物学習プログラム開発と実施に向けた準備

調査研究期間：2022年4月1日（金）～2023年3月31日（金）



【調査研究の内容・目的】

- これまで地元の研究者や教育者等と協働し、茨城県の沿岸域に生息する動物を調査してきた。それらの調査で蓄積された成果と新たに得られた知見を基に、磯に生息する動物を学ぶための学習教材を開発する。
- 調査等を通して得られた茨城県の沿岸域に生息する動物の画像を収集・整理し、磯の動物を学ぶためのガイドブックの素稿を製作する。また、博物館の常設展で、約3カ月間、茨城県の磯の動物や活動の様子を紹介する。
- このような活動を通して、一般の方々に地元の家やそこに生息する生きものについての関心や理解を深める機会を提供するとともに、関係者間に「海の学び」に関する活発なコミュニケーションを発生させ、関係機関の連携体制の構築を確実なものとする。

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。

1. 調査研究内容の詳細

【調査研究代表者】

- 池澤広美（ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

【調査研究分担者】

- 森野 浩（茨城大学名誉教授）
- 鴨川 充（茨城県環境アドバイザー）
- 日賀野晴彦（茨城県立麻生高等学校）
- 並河 洋（国立科学博物館）
- 田中宏典（アクアワールド茨城県大洗水族館）
- 齋藤伸輔（アクアワールド茨城県大洗水族館）
- 小泉智弘（明秀学園日立高等学校）
- 中山聖子（東邦大学）
- 片山英里（公益財団法人 水産無脊椎動物研究所）
- 舟橋正隆（茨城県環境アドバイザー）

【実施計画】

- 2カ年計画1年目

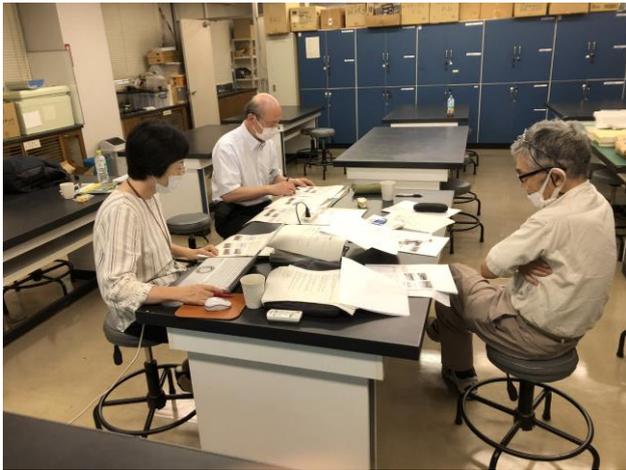
【主な調査研究対象など】

- 地域の沿岸域に生息する動物の画像等の収集と整理
- 「茨城の磯の動物ガイド」の素稿の作成
- 地域の磯の動物と調査活動に関する展示



地域の沿岸域に生息する動物の画像等の収集と整理

これまで地元の研究者や教育者等で実施してきた調査で蓄積された海産動物の画像を集約した他、新たに磯の動物の画像を撮影し、それらを動物群ごとに整理した。これらの素材は、今後刊行を予定している「茨城の磯の動物ガイド」で使用する他、博物館や水族館等の関係機関が、海に係わる展示や海洋教育の教材作りに活用することができる。また、合わせて磯に生息する動物の標本も収集した。これらの標本は地元の海岸動物相の解明やその変化を知るのに役立つだけでなく、博物館の展示や教育普及でも活用することができる。



「茨城の磯の動物ガイド」の素稿の作成

「茨城の磯の動物ガイド」の素稿を作成するため、対面やオンラインで編集会議を開催し、掲載種、目次、内容等について検討を行った。ガイドブックは総頁数約 100 頁になる。海綿、刺胞、扁形、環形、軟体、苔虫、節足、棘皮、脊索の 9 の動物門の中から代表的な動物約 120 種を掲載している他、観察会のための基礎知識、観察会に向けての準備や注意、コラムなどを盛り込んでいる。

このガイドブックが完成すれば、博物館や水族館、関係団体で開催される自然観察会等の教育普及活動で広く活用され、多くの人々に地元の海やそこに生息する生きものについての関心や理解を深める機会を提供することができる。さらに、関係者間で海に関する活発なコミュニケーションを発生させ、それが地域コミュニティの活性化に繋がることが期待できる。



地域の磯の動物と調査活動に関する展示

2022年6月11日～9月19日まで、ミュージアムパーク茨城県自然博物館の常設展「茨城の自然インフォメーション」で茨城の磯の動物や調査の様子について展示を行った。展示では、収集・整理した画像を使って作成した茨城県の海産動物を紹介するスライドをモニターで提示するとともに、地元の磯で見られる無脊椎動物をミニジオラマ風に展示した。さらに、調査活動の様子や「茨城の磯の動物ガイドブック」の製作に関する紹介も行った。

この展示を通して、博物館の来館者に茨城県の海に暮らす生き物たちを知って身近に感じてもらい、海への興味・関心を高めていただくきっかけを提供することができたのではないかなと思う。

2. 本調査研究成果を基に計画・実施可能な 「海の学び」に繋がる博物館活動案

■博物館活動の形態：磯の動物をテーマとした体験活動イベント

■実施時期：2024年5、6月頃

■実施場所：ひたちなか市の磯

【実施内容】

■本調査研究で作成した学習プログラムを活用して、ひたちなか市の海岸で磯の動物をテーマにした観察会を実施する。

■観察会は、学習プログラム「茨城の磯の動物ガイドブック」の製作に関わった関係機関と共催で開催し、執筆担当者が解説者となって、各動物群の説明をしていただく。

■学習プログラム「茨城の磯の動物ガイドブック」については、参加者に配布し、磯の動物を学ぶための教材として活用していただく。

【他の博物館・機関や地域社会との連携や取り組み内容】

■学習プログラム「茨城の磯の動物ガイドブック」については、関係機関が実施する体験活動やひたちなか市の磯をテーマに実施されるその他のイベント等で活用していただく。

■調査研究分担者の中には、地域において講演会や観察会等を通じて、環境保全に関する知識の普及・啓発を図ることを職務とする「茨城県環境アドバイザー」を委嘱されている者がいるが、その活動の中でも講師としてガイドブックを地元の海の生物や環境問題を学ぶための教材として活用していただく。

■SNS やメディア等を通して、「茨城の磯の動物ガイドブック」を周知し、磯に興味関心のある子どもたちへ配布を行う。

【特に学校教育との連携について】

■調査研究分担者が所属する学校の授業や部活動の中で、生徒が地元の海の生物に対する理解を深めるための教材としてガイドブックを活用していただく。

■ガイドブックの活用を希望する小中学校等に配布し、授業、部活動、調査等、幅広い活動の中で学習教材として活用していただく。

【事業全体のまとめ】

本事業では、磯の動物や調査活動等に関する展示や「茨城の磯の動物ガイドブック」の素稿の製作を行った。これらの作業を通して、磯の動物の画像を集約できただけでなく、関係機関・関係者との連携を深められたことは今後の活動を行う上で大きな前進であった。

また、これまで地元の研究者や教育者等と協働し、茨城県の沿岸域に生息する動物を調査してきたが、それらを一般に還元する機会がほとんどなかった。「茨城の磯の動物ガイドブック」の完成によって、これまでの調査等で蓄積した成果を一般に還元することができるのではないかと考える。

今後、関係機関・関係者との観察会等も予定しているが、それらの連携体制を強固にしながら、「海の学び」の活動をさらに広げ、一般の方々の海に対する興味関心や意識を高めていきたいと考えている。

主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. アクアワールド茨城県大洗水族館	磯の動物画像の整備、学習プログラム作成の協働作業
2. 公益財団法人 水産無脊椎動物研究所	磯の動物画像の整備、学習プログラム作成の協働作業

主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
なし	

以上

※上記写真等は特別な許可を得て撮影されたものです。無断転載等はいけません。